



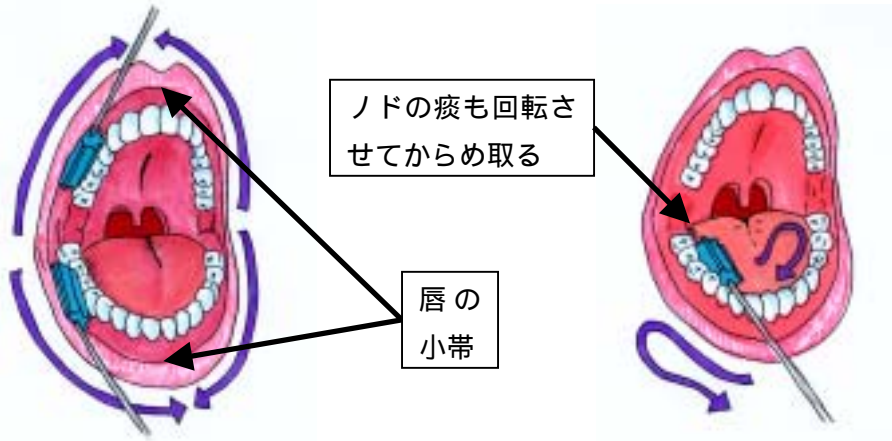
スポンジブラシ くるリーナブラシ

使用法

1、歯の表面の清拭（頬側・噛む面・舌側）

奥から前へ

下顎の歯の内側



上下の歯肉側に小帯があるので真ん中で止めます。

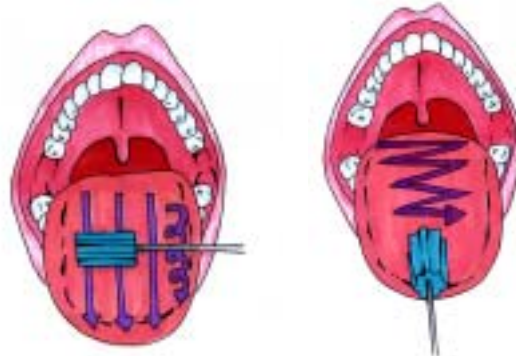
舌を軽く持ち上げてもらい、下の歯の内側と外側を清拭します

2、うわ顎の清拭（真ん中から左右へこする。そして、奥から前へすばやく清拭します）



3、歯肉と頬粘膜の間の清拭

4、舌の清拭



頬は引っ張るように拭きます。
唇の小帯があるので真ん中で止めます。

スポンジブラシ等を回しながら清拭します。

1) 口唇のケア



乾燥がある場合は、スポンジブラシで軽く湿らせます。また、口角炎が見られる時は、オーラルバランスを塗布します。乾燥が強いと、開口時に口唇や口角から出血する場合もあるので、十分に水分を含ませたガーゼ等で潤わせましょう。ウエットケアの噴霧も便利です。

2) 口腔粘膜のケア

口内全体の粘膜



まず、口腔内に十分に水分を含ませて湿潤してから、粘膜ケアを行いましょう。(口蓋・頬粘膜・舌・歯肉の湿潤) スポンジブラシの使用の基本は、『奥から手前』『中から外』に動かしましょう！

口腔前庭部：頬と歯の間の部分



上顎・下顎の片方ずつスポンジブラシを回転させながら、頬粘膜は軽く引っ張るように拭きます。歯肉は逆に軽く押さえつけるように拭きます。

下顎舌側



舌を軽く持ち上げてもらい、スポンジブラシを挿入し、U字型をした口腔底のスペースを片側ずつ拭きます。咽頭部の痰も、スポンジブラシやくるりーナブラシを回転させてからめることで除去できます。

上顎口蓋側



左右の歯の回りを拭い、奥から手前に口蓋を左右に往復させながら奥から手前に拭きます。乾燥が強くて痂皮や乾燥痰がある場合は、オーラルウエットを噴霧してふやかしてから除去します。ピンセット・舌ブラシがあると便利です。

3) 舌のケア



スポンジブラシ、舌ブラシや軟らかい毛の歯ブラシで、奥から手前に5回程度軽い力で清掃する。舌苔は剥離しかけた上皮が中心ですので、全部こすぎとる必要はありません。